

No.	意見の概要	本市の考え方・回答
1	<p>南海トラフ地震による津波が発生した場合、インフラ設備である電気や上下水道は壊滅的となる可能性が高く、水洗トイレは長期にわたり使用出来ないと予想されます。</p> <p>トイレが使えないことは避難住民の死活問題ですので水洗トイレの新設ではなく、災害トイレの設置及び確保の検討をお願いします。</p>	<p>南海トラフ地震など大規模災害時には、電気や水道などのインフラ施設が使用できないことが想定されるため、仮設トイレ、簡易トイレなどのいわゆる「災害トイレ」の設置及び確保の必要性については、十分認識しており、簡易トイレや携帯トイレなど計画的に備蓄していくこととしており、またリース会社と応援協定を締結し、災害時に迅速に仮設トイレを避難所に配置できる体制を整えているところです。</p> <p>一方で、今回の北浦町三川内小中学校体育館は、単に短期的な避難所としてだけでなく、長期避難所としての役割があるほか、台風などの一時避難場所としての役割もありますので、トイレもしっかり整備する必要がありますが、現状は、男女兼用で小便器1基、洋式の大便器1基しかない状況であることから、男子トイレと女子トイレに分離し、更に多目的トイレを新設するとともに、体育館の出入口にスロープを整備し段差の解消を図るものです。</p> <p>今後も、本市としましては、災害用トイレの確保に努めるとともに、三川内小中学校以外の避難所等でもバリアフリー化が必要なトイレに手すりの設置も含めて整備することや出入口の段差解消を行うなど環境改善に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力賜りたいと存じます。</p>
2	<p>延岡青朋高校体育館、南老人福祉センターなどの避難所等の環境改善を行うほか、物資の備蓄も行っていただきたい。</p>	<p>三川内小中学校以外の避難所等についても環境改善を行う必要性は認識しており、地域で防災活動を担う区長や民生委員、消防団の皆様とも意見交換を行いながら、次年度以降の整備個所についても調整しているところです。</p> <p>頂いたご意見を参考に、各地域の区長の皆様や施設管理者と協議を行い、必要に応じて整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、各避難所等への備蓄については、既に、小中学校などの避難所等については、飲料水などの備蓄を進めているところであり、今後は、非常食やトイレ用品などについても備蓄を進めていきたいと考えているところです。</p>